

『地域連携医療機関』における勉強会』開催にむけて！

顔の見える地域連携をスローガンの元、連携医療機関間においての定期的な合同勉強会の開催を検討しています。勉強会では、医師・看護師のみならず医療や福祉に関わるもの全員想定しており、各医療機関間で集まり勉強会又は、意見交換を行い、地域における医療サービスの向上を目的としています。2010年8月3日の交流会では連携医療機関の皆さまに勉強会内容の要望をアンケートにて、伺わせていただきました。現在当院においても、どういった勉強会の実施が可能であるか各職種に確認を行っています。今後の定期開催に向けご協力賜りますようお願いいたします。

講演会スケジュール

今後の当院におけるがん関係の講演会スケジュールです。院内、院外問わずぜひご参加下さい。参加希望者は同封されている参加申込み書の提出をお願いします。

①抗がん剤について

日時 平成22年11月1日(月) 18時～19時30分
 テーマ 日本における臨床研究・治験の現状と今後一拠点医療機関の役割
 演者 慶應大学医学部 クリニカルリサーチ所長 佐藤 裕史先生

②がん看護勉強会 化学療法ケアコース

日時 平成22年11月12日(金) 18時～19時30分
 テーマ 化学療法患者の栄養管理
 演者 武庫川女子大学 生活環境学部 食物栄養学部教授 雨海 照祥先生

③がん関係講演会

日時 平成23年2月10日(木) 18時～19時30分
 テーマ がんのリハビリテーション
 演者 静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション科部長 田沼 明先生

三河の一言



がん地域連携室 室長
三河 貴裕

院内ではがん連携パスとしてまず胃がんパスが運用可能な状況になりました。その他も肝がん以外は運用まであと少しです。適応となった患者さまに関わっていただく先生方にはまた御連絡申し上げますのでよろしくお願い致します。

同時に下記のように、地域の先生方と当院とのやりとりの仕方について改善の余地のある点が、訪問によって明らかとなりました。一つ一つ改善し、報告させていただきます。

今まで以上に亀田総合病院が、地域の先生方、ひいては住民の方々に利用しやすくなるよう努力いたしますので、御意見、御協力の程よろしくお願い申し上げます。

がん連携パスの視察

2010年11月5日～11月6日に、がん拠点病院推進センタースタッフにて北海道函館にあり、がん地域連携・クリティカルパスを実施している「社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院」並びに連携医療機関である「北美原クリニック」への視察を行います。当院がん拠点病院推進センターでは、平成24年度からのがん地域連携パスの実施に当たり、「医師 1名」「看護師 2名」「ソーシャルワーカー 2名」「薬剤師 1名」「事務員 3名」の計9名で活動を行っております。現在の活動は、各連携医療機関へのご説明と協力のお願いにお伺いし、現場調整を進行している段階ですが、五稜郭病院さまでは、すでに実施され実績を重ねております。また連携医療機関である北美原クリニックさまでは、五稜郭病院との主に胃がんの連携を最も多く行っており、今後の当院におけるがん地域連携パスにおいての参考とするべく、「地域連携パスの体制作り・院内フローチャート・院内の運用方法・緊急時の連絡方法・各職種別の役割など」多くご意見をお伺いできればと考えております。視察後、こちらのがん連携パスだよりにてご報告をさせていただきます。

函館五稜郭病院



北美原クリニック



【院内における改善点の報告】

連携医療機関さまからのご要望より、院内における改善活動を報告致します。

①連絡窓口の明確化

各科の緊急時(直ぐに対応)と準緊急(2～3日中)と通常の連絡窓口をはっきりさせる。
 →10月の医師部長会で連絡先リスト作成の提案を予定しており、決定後各連携医療機関にご案内する。

②紹介報告書の返信を徹底する

関わった全ての医師から紹介元に必ず返信するよう院内に告知。

③総合診療科、救急救命科へ個別に地域の声を直接伝えた

④転院時の診療情報提供書に付随するチェックリストの作成

ADLや酸素、吸引の必要性を漏れなく転院前に確認することで、転院先の準備を早急に整える事ができる。

亀田総合病院がん拠点病院推進センター
 発行責任者: 亀田 信介
 編集責任者: 唐鎌 房子
 TEL: 04-7099-1230【内線3248】